

社会システム総合概論【夜】

担当者名 伊野 憲治 / 基盤教育センター, 後藤 尚久 / Naohisa Goto / 経済学科
/Instructor 武井 満幹 / 中国学科, 小賀 久 / Hisashi KOGA / 人間関係学科

履修年次 1年次 単位 2単位 学期 1学期 授業形態 講義 クラス 1年
/Year /Credits /Semester /Class Format /Class

対象入学年度 /Year of School Entrance	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
						○	○	○	○	○	○	

授業で得られる「学位授与方針における能力（学生が修了時に身に付ける能力）」、到達目標
/ Competence Defined in “Diploma Policy” (Competence Students Attain by Course Completion), Specific Targets in Focus

学位授与方針における能力			到達目標	
知識・理解	経済・経営に関する高度な知識を修得し、専門職業人及び研究者として、複雑化しグローバル化する経済社会を解明できるようになる。	○	社会システムにおける基礎的で共通の知識を修得し、各専攻での専門的な知識や理解の礎を形成できるようになる。	
技能	経済・経営の専門家として、必要な情報を収集し適切に分析できるようになる。	△	各専攻での専門的な課題に対して、適切な分析の基礎が修得できるようになる。	
態度	高度な専門知識を生かして、経済・経営の抱える課題を主体的に解決できるようになる。	△	各専攻で修得する専門的知識を駆使して、社会の様々な課題に主体的に取り組む姿勢を修得できるようになる。	

※◎：強く関連 ○：関連 △：やや関連

社会システム総合概論

※現代経済専攻以外の学生は、自専攻のカリキュラム・マップを確認してください。

授業の概要 /Course Description

本概論は、社会、文化、経済などの広範囲にわたる現代社会の様々な事象を研究するための基礎的な技能と、そのために把握しておくべき基本的なアカデミック・ルールを習得することを目的としている。個々の分野についての専門知識を深めるだけではなく、それぞれの事象が現代社会ではどのように関係し合っているのかについても理解する。概論は原則として、複数の担当教員がそれぞれのテーマに沿ったオムニバス形式で実施する。今後研究に取り組んでいく際の基本的な姿勢、考え方等を学ぶ。各教員の講義やディスカッション等を通じて、各自が自らの研究計画を練り直していく。

到達目標

【高度な専門的知識・技能】

社会システムにおける基礎的で共通の知識と各専攻での専門的知識を理解している。

【高い問題解決能力と表現力】

各専攻での専門的な課題に対して、適切な分析と表現によって解決することができる。

【高い倫理観に基づいた自律的行動力】

高い倫理観に基づき社会の様々な課題に主体的かつ自律的に取り組む行動力を持っている。

教科書 /Textbooks

概論全体での教科書は特に指定しない。担当教員が適時資料等を配布することがある。

参考書(図書館蔵書には ○) /References (Available in the library: ○)

担当教員がトピックに会わせて紹介する。

但し、第7回についてはNHK特集「らいは不治にあらず」、第8回については原田正純『裁かれるのは誰か』世織書房、第9回に関しては宗澤忠雄『地域に活かす私たちの障害福祉計画』中央法規、小賀久『障がいのある人の地域福祉政策と自立支援』法律文化社を参照。

社会システム総合概論 【夜】

授業計画・内容 /Class schedules and Contents

第1回：オリエンテーション
 第2回：図書館ツアー：学内の資料・情報の利用方法について
 第3回：アカデミック・スキル：剽窃行為の防止と論文の執筆方法
 第4回：研究の方法（1）－経済学・経営学を中心に－（後藤担当）
 第5回：研究の方法（2）－データの活用方法－（後藤担当）
 第6回：研究成果のまとめ方（後藤担当）
 第7回：研究の立場性について①－ハンセン病隔離政策を通して－（小賀担当）
 第8回：研究の立場性について②－水俣病の原因究明や認定のあり方を通して－（小賀担当）
 第9回：研究（運動）とは何か－社会福祉計画の策定と実施を通して－（小賀担当）
 第10回：中国古典文学の研究（武井担当）
 第11回：研究の基礎－中国古典詩の読み方－（武井担当）
 第12回：中国古典と日本（武井担当）
 第13回：地域研究の現在（伊野担当）
 第14回：ミャンマー研究の現在（伊野担当）
 第15回：自己の研究の位置づけと課題（伊野担当）
 但し、途中でディスカッション、発表等を組み込む可能性あり。

成績評価の方法 /Assessment Method

研究計画書（レポート）の作成4回（25%×4）
 によりシラバスの到達目標をどの程度達しているかを判断して評価を行う。

事前・事後学習の内容 /Preparation and Review

事前学習：当該テーマについての独自の文献検索。
 事後学習：自らの研究計画の見直し、レポート作成。

履修上の注意 /Remarks

担当者からのメッセージ /Message from the Instructor

キーワード /Keywords

社会システム総合概論【夜】

担当者名 伊野 憲治 / 基盤教育センター, 後藤 尚久 / Naohisa Goto / 経済学科
/Instructor 武井 満幹 / 中国学科, 小賀 久 / Hisashi KOGA / 人間関係学科

履修年次 1年次 単位 2単位 学期 1学期 授業形態 講義 クラス 1年
/Year /Credits /Semester /Class Format /Class

対象入学年度
/Year of School Entrance

2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
											○

授業で得られる「学位授与方針における能力（学生が修了時に身に付ける能力）」、到達目標
/ Competence Defined in “Diploma Policy” (Competence Students Attain by Course Completion), Specific Targets in Focus

DP 科目記号	高度な専門的知識・技能	高い問題解決能力と表現力	高い倫理観に基づいた自律的行動力
SOC500B	○	◎	◎
科目名	社会システム総合概論		

※修得できる能力との関連性 ◎：強く関連 ○：関連 △：やや関連
※現代経済専攻以外の学生は、科目と学位授与方針における能力の関連性を自専攻のカリキュラムマップで確認してください。

授業の概要 /Course Description

本概論は、社会、文化、経済などの広範囲にわたる現代社会の様々な事象を研究するための基礎的な技能と、そのために把握しておくべき基本的なアカデミック・ルールを習得することを目的としている。個々の分野についての専門知識を深めるだけではなく、それぞれの事象が現代社会ではどのように関係し合っているのかについても理解する。概論は原則として、複数の担当教員がそれぞれのテーマに沿ったオムニバス形式で実施する。今後研究に取り組んでいく際の基本的な姿勢、考え方等を学ぶ。各教員の講義やディスカッション等を通じて、各自が自らの研究計画を練り直していく。

到達目標

- 【高度な専門的知識・技能】
社会システムにおける基礎的で共通の知識と各専攻での専門的知識を理解している。
- 【高い問題解決能力と表現力】
各専攻での専門的な課題に対して、適切な分析と表現によって解決することができる。
- 【高い倫理観に基づいた自律的行動力】
高い倫理観に基づき社会の様々な課題に主体的かつ自律的に取り組む行動力を持っている。

教科書 /Textbooks

概論全体での教科書は特に指定しない。担当教員が適時資料等を配布することがある。

参考書(図書館蔵書には ○) /References (Available in the library: ○)

担当教員がトピックに合わせて紹介する。
但し、第7回についてはNHK特集「らいは不治にあらず」、第8回については原田正純『裁かれるのは誰か』世織書房、第9回に関しては宗澤忠雄『地域に活かす私たちの障害福祉計画』中央法規、小賀久『障がいのある人の地域福祉政策と自立支援』法律文化社を参照。

授業計画・内容 /Class schedules and Contents

- 第1回：オリエンテーション
 - 第2回：図書館ツアー：学内の資料・情報の利用方法について
 - 第3回：アカデミック・スキル：剽窃行為の防止と論文の執筆方法
 - 第4回：研究の方法（1）－経済学・経営学を中心に－（後藤担当）
 - 第5回：研究の方法（2）－データの活用方法－（後藤担当）
 - 第6回：研究成果のまとめ方（後藤担当）
 - 第7回：研究の立場性について①－ハンセン病隔離政策を通して－（小賀担当）
 - 第8回：研究の立場性について②－水俣病の原因究明や認定のあり方を通して－（小賀担当）
 - 第9回：研究（運動）とは何か－社会福祉計画の策定と実施を通して－（小賀担当）
 - 第10回：中国古典文学の研究（武井担当）
 - 第11回：研究の基礎－中国古典詩の読み方－（武井担当）
 - 第12回：中国古典と日本（武井担当）
 - 第13回：地域研究の現在（伊野担当）
 - 第14回：ミャンマー研究の現在（伊野担当）
 - 第15回：自己の研究の位置づけと課題（伊野担当）
- 但し、途中でディスカッション、発表等を組み込む可能性あり。

社会システム総合概論 【夜】

成績評価の方法 /Assessment Method

研究計画書（レポート）の作成4回（25%×4）
によりシラバスの到達目標をどの程度達しているかを判断して評価を行う。

事前・事後学習の内容 /Preparation and Review

事前学習：当該テーマについての独自の文献検索。
事後学習：自らの研究計画の見直し、レポート作成。

履修上の注意 /Remarks

担当者からのメッセージ /Message from the Instructor

キーワード /Keywords